



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月10日
上場取引所 東

上場会社名 東海カーボン株式会社
 コード番号 5301 URL <https://www.tokaicarbon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長坂 一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 佐藤 昭彦 TEL 03-3746-5100
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 一
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	53,968	2.2	4,077	△39.6	3,999	△39.2	1,968	△57.1
2020年12月期第1四半期	52,790	△23.3	6,750	△68.2	6,573	△69.0	4,583	△65.4

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 15,888百万円(-%) 2020年12月期第1四半期 △8,565百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	9.23	—
2020年12月期第1四半期	21.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	475,308	237,503	44.7
2020年12月期	459,709	224,815	43.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 212,424百万円 2020年12月期 201,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	103,800	10.7	4,600	△20.9	4,100	△20.6	200	△90.7	0.94
通期	227,900	13.1	18,100	130.3	16,900	169.9	8,900	772.6	41.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年12月期 1 Q	224,943,104株	2020年12月期	224,943,104株
---------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年12月期 1 Q	11,771,826株	2020年12月期	11,771,256株
---------------	-------------	-----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期 1 Q	213,171,583株	2020年12月期 1 Q	213,151,860株
---------------	--------------	---------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2021年5月11日（火）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を電話会議方式で開催する予定です。この説明会の資料は、開催日当日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期決算の経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年3月31日まで)の世界経済は、米国等、経済大国を中心とした巨額の財政支援や昨年末から順次始まったワクチン接種により、コロナ禍によって大きく落ち込んだ前年上半期から引き続き回復しつつあります。今後とも、各国景気刺激策やワクチンの普及による景気回復が期待される一方、感染力の強い変異株の蔓延、巨額の財政支援に伴う副作用、財政支援・ワクチン普及率における国家・地域間格差の顕在化等、世界経済を取り巻く不確実性も大きくなっています。

このような情勢下、当社グループにおいては、昨年2月に公表した中期経営計画「T-2022」に則り事業活動を展開してまいりましたが、ファインカーボンなどの成長事業が伸びる一方で、主力事業である黒鉛電極は市況回復が進まず、苦戦を余儀なくされました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2.2%増の539億6千8百万円となりました。営業利益は前年同期比39.6%減の40億7千7百万円となりました。経常利益は前年同期比39.2%減の39億9千9百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比57.1%減の19億6千8百万円となりました。

セグメント別の経営成績は下記の通りです。

[黒鉛電極事業]

黒鉛電極の市中在庫は適正レベルに戻ってきており、販売数量も前年同期の水準まで回復しました。黒鉛電極の市況は、下げ止まり及び反転の兆しが見られるものの、前年同期との比較では未だ低位で推移しております。

この結果、当事業の売上高は前年同期比30.6%減の79億5千7百万円となり、営業損益は2億2千3百万円の損失(前年同期は21億3千1百万円の営業利益)となりました。

[カーボンブラック事業]

2月に米国南部で発生した大寒波による米国生産拠点の生産出荷の一時停止で販売量が低下したものの、タイヤ及び自動車部品産業の需要は総じて回復基調にあり、グループ全体の販売量は前年同期比で増加しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比2.7%増の215億9千5百万円となり、営業利益は前年同期比3.8%増の18億7百万円となりました。

[ファインカーボン事業]

半導体、太陽光発電向け生産出荷は堅調に推移しましたが、一般産業用向けは本格的回復には至っておらず低調に推移いたしました。一方で、高付加価値商品であるソリッドSiC(シリコンカーバイド)製品は世界的に旺盛な需要を背景に出荷が伸びています。

この結果、当事業の売上高は前年同期比12.8%増の88億2千6百万円となり、営業利益は前年同期比11.8%増の21億4千6百万円となりました。

[精錬ライニング事業]

中国経済や自動車生産の回復により、アルミ生産量及び市場価格ともに上昇しており、事業環境は堅調に推移しております。一方で、コロナ感染拡大後のカソード市況の弱含みと出荷品種構成の変化等により前年同期比でマージンが下がりました。なお2020年7月17日にフランスの炭素黒鉛製品メーカーTokai Carbon Savoie International SAS(旧商号Carbone Savoie International SAS)及びそのグループ会社を連結子会社として本セグメントに含めております。

この結果、当事業の売上高は前年同期比61.8%増の107億6千6百万円となり、営業利益は前年同期比75.7%減の4千2百万円となりました。

[工業炉及び関連製品事業]

工業炉の売上高は、主要な需要先であるエネルギー関連業界向けの売上が第2四半期以降に集中するため、前年同期比減となりました。発熱体その他製品の売上高は、電子部品業界向け及び中国国内向けの需要が堅調に推移したため、前年同期比増となりました。

この結果、当事業の売上高は前年同期比38.9%減の19億8千2百万円となり、営業利益は前年同期比40.0%減の5億2千1百万円となりました。

[その他事業]

摩擦材

世界経済の回復とともに、建機、農機、二輪、電磁の各用途向け需要が増加し、摩擦材の売上高は前年同期比30.2%増の21億3千4百万円となりました。

負極材

負極材市場における新興勢の台頭等により競争が激化し前年同期比で販売数量が減少いたしました。

この結果、負極材の売上高は前年同期比25.8%減の6億7千万円となりました。

その他

不動産賃貸等その他の売上高は、前年同期比5.0%減の3千4百万円となりました。

以上により、その他事業の売上高は前年同期比10.1%増の28億3千9百万円となり、営業利益は前年同期比43.0%減の1億3千8百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,174	60,034
受取手形及び売掛金	41,438	42,859
商品及び製品	14,890	18,082
仕掛品	30,638	31,180
原材料及び貯蔵品	18,269	18,741
その他	5,490	7,822
貸倒引当金	△224	△221
流動資産合計	177,678	178,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,150	25,501
機械装置及び運搬具（純額）	51,515	53,762
炉（純額）	8,354	8,222
土地	7,604	7,726
建設仮勘定	24,672	29,646
その他（純額）	7,709	7,911
有形固定資産合計	125,007	132,770
無形固定資産		
ソフトウェア	2,015	1,964
のれん	60,316	60,433
顧客関連資産	62,438	62,553
その他	8,579	8,605
無形固定資産合計	133,349	133,557
投資その他の資産		
投資有価証券	17,492	21,097
退職給付に係る資産	2,729	2,708
繰延税金資産	2,611	5,646
その他	890	1,078
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	23,674	30,481
固定資産合計	282,031	296,809
資産合計	459,709	475,308

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,500	15,535
電子記録債務	3,147	3,988
短期借入金	3,065	4,000
コマーシャル・ペーパー	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	8,813	10,341
未払法人税等	3,094	2,693
未払費用	2,880	2,660
賞与引当金	1,754	1,227
その他	14,398	14,888
流動負債合計	92,656	95,336
固定負債		
社債	55,000	55,000
長期借入金	51,764	47,845
繰延税金負債	21,409	25,323
退職給付に係る負債	7,544	7,716
役員退職慰労引当金	82	80
執行役員等退職慰労引当金	73	57
環境安全対策引当金	431	359
その他	5,932	6,086
固定負債合計	142,237	142,469
負債合計	234,894	237,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	17,338	17,338
利益剰余金	166,017	164,788
自己株式	△7,248	△7,249
株主資本合計	196,543	195,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,436	9,321
繰延ヘッジ損益	△70	△134
為替換算調整勘定	△3,529	6,998
退職給付に係る調整累計額	887	926
その他の包括利益累計額合計	4,723	17,110
非支配株主持分	23,548	25,078
純資産合計	224,815	237,503
負債純資産合計	459,709	475,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	52,790	53,968
売上原価	35,592	39,053
売上総利益	17,197	14,914
販売費及び一般管理費	10,447	10,837
営業利益	6,750	4,077
営業外収益		
受取利息	62	60
受取配当金	85	72
持分法による投資利益	42	11
為替差益	20	356
その他	146	260
営業外収益合計	357	762
営業外費用		
支払利息	197	281
その他	337	558
営業外費用合計	534	840
経常利益	6,573	3,999
特別利益		
投資有価証券売却益	—	35
固定資産売却益	29	0
特別利益合計	29	36
特別損失		
固定資産除却損	—	21
投資有価証券評価損	117	—
特別損失合計	117	21
税金等調整前四半期純利益	6,484	4,013
法人税、住民税及び事業税	2,061	1,686
法人税等調整額	△774	△490
法人税等合計	1,287	1,195
四半期純利益	5,197	2,817
非支配株主に帰属する四半期純利益	613	849
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,583	1,968

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	5,197	2,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,017	1,886
繰延ヘッジ損益	△275	△64
為替換算調整勘定	△10,311	11,221
退職給付に係る調整額	△122	38
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	△12
その他の包括利益合計	△13,762	13,070
四半期包括利益	△8,565	15,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,018	14,355
非支配株主に係る四半期包括利益	△546	1,532

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	精錬ライ ニング事 業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	11,460	21,030	7,825	6,652	3,242	50,211	2,579	52,790	—	52,790
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	20	29	0	121	215	0	215	△215	—
計	11,504	21,050	7,855	6,652	3,363	50,426	2,579	53,006	△215	52,790
セグメント利益	2,131	1,741	1,919	175	868	6,837	242	7,080	△330	6,750

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△330百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△322百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	黒鉛電極 事業	カーボン ブラック 事業	ファイン カーボン 事業	精錬ライ ニング事 業	工業炉及 び関連製 品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	7,957	21,595	8,826	10,766	1,982	51,128	2,839	53,968	—	53,968
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	21	25	6	134	213	—	213	△213	—
計	7,982	21,617	8,852	10,772	2,117	51,342	2,839	54,181	△213	53,968
セグメント利益又は損 失(△)	△223	1,807	2,146	42	521	4,294	138	4,432	△355	4,077

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業、負極材事業及び不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△355百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△327百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。